板橋区立赤塚第二中学校　学校だより　＜第８号＞

芙　蓉

教育目標「立志・鍛錬・協調」

令和５年１２月２５日
校長　木村　知広
〒175-0094
板橋区成増 3-18-1
TEL (3939)0247

理想とする自分とより良い社会の実現を目指して

校長　木村　知広

季節、音節、関節、節目など「節」という漢字が使われる言葉は、色々な意味で区切りとして使われており、私たち日本人は区切りである「節」を大切にしています。

中でも、人生の節目や節目の年などと表現するように、時間的な区切りである「節目」というものを特に大切にしているのではないでしょうか。学校生活における始業式・終業式・入学式・卒業式などの儀式や、日常生活における誕生日・記念日・お盆・正月などの行事は、節目を大切にしている証です。

この節目を大切にするのは、次の２点の理由からだと思います。一つは、ただ漠然（ばくぜん）として時間だけが過ぎていく生活ではなく、一度立ち止まり、それまでのことを振り返って自分自身の成長と課題を確認したり、次への目標を改めて見直したりすることを通して、今後の自分自身の生活にメリハリと潤いをもたせることができるからです。もう一つは、節目を契機に、支えてくれた方やお世話になった方々への感謝の気持ちをもつとともに、その気持ちを素直に伝えることによって、今後の円滑な人間関係を創りあげることができるからです。

これから２学期活動終了、大晦日・元旦などの大きな節目を迎えますので、ぜひ自分自身を振り返って自身の生活の充実につなげるとともに、支えてくれた方やお世話になった方に素直な気持ちで感謝の言葉を伝え、互いの絆を深めていってください。

また、自身を振り返る際には、皆さんに繰り返し伝えてきた「令和５年度が始まるにあたり、皆さんに大切してほしいこと」の達成状況も改めて振り返り、３学期につなげてください。

令和５年度が始まるにあたり、全校生徒の皆さんに大切にしてほしいこと（学校だより第１号より）

①理想の自分の姿をしっかり見据えた上で、その実現に向けて自ら学び・考え・判断し・行動すること
②理想とする自分の姿に近づけたかどうかを常に振り返り、自分の弱さを克服しながら、ねばり強く挑戦しつづけること
③一人一人の個性などの違いを認める心と温かい思いやりの心をもって人と接すること
④自分を支えてくれるすべての人々に感謝の心をもって、日々生活すること

さて、上記以外にも、今後につなげるべきことの一つに 12 月 16 日（土）に実施した道徳授業地区公開講座での学びがあります。「より良い社会の実現」をテーマに、全学級が教材「加山さんの願い」での道徳科授業を１時間、その後全校の振り返りを１時間行う中で、皆さん一人一人が本当に一生懸命考え・議論したことは、とても学び多きものでした。その皆さんの学びの一部を紹介します。

○今日の授業で「してあげる」じゃなく、支え合うことの大切さを学んだので、これからの生活で自分は「してあげようか」ではなく、自然な感じで手伝ったり支えたりしようと思った。振り返りで７～９年生の授業内で考えたことについて聞いたとき、やっぱり学年が上がるほど考え方が大人っぽくなるんだなと感じました。

○お互いに尊敬しあって、どんな人とでも対等に接することが大切だと思った。また、助けたときとかに、自分だけが満足するのではなく、お互いがいい気持ちになれるようにすることも大切だと思った。また、よりよい社会をつくるためには、よりよい人間関係が大切だと思った。よりよい人間関係とは、一方的な関係ではなく、お互いが自然と笑顔になれる関係だと思う。そのためには、校長先生がおっしゃっていた他愛のない話や挨拶が重要だと思った。最後に、この授業だけでなく、道徳の授業全体を通じて実感したことは、人によって着目するところも、そこから登場人物について考えることも、そこからこの文章は何を伝えたかったのかなどの捉え方が違うことだ。ひとりひとりの意見を大切にしていきたい。

○加山さんのように孤独死はさみしく、つらいものだと思う人は沢山いて、世の中をよりよくしたいと私自身も思っていましたが、実際どうすればいいのか分からなかったです。しかし、今回の単元を通じて、普段から何気なくやっているあいさつや声かけが人々の関わる機会をつくり、人間関係も良くなるのだと気付くことができました。そして、自分と関係が深い家族やおじいちゃん、おばあちゃんのことも大切にしていこうと思いました。

○身近な方がなくなるという経験をしたことがないため、今日の授業を受けるまでは、他人事のように考えたり、実感がないことが多かったのですが、隣や近くに住んでいる人に少しでも興味をもとうという気持ちになりました。また、近くに住んでいる人はすれ違う度に「おはようございます」「おかえりなさい」などと声をかけていただいたことへのありがたみを改めて感じました。

また、当日皆さんの頑張りを参観していた方からの感想の一部をご紹介します。

○私は７３歳です。若い中学生７年生、８年生、９年生で一緒に高齢者のことを思って、できることを考えてくださっていることに感激しました。仲良く語り合って登下校する皆さんやシャキッとして歩く中学生の姿に元気をもらっています。素晴らしい赤塚二中の皆さんですな。尊い授業を聴かせていただき、ありがとうございました。
○子どもたちからも色々な意見があり、人を助けたい気持ちをみんなもっていて、今回学校全体で意見を共有したことで、自然に自分のできる範囲で周りの人に手を差し伸べることができるようになるといいなと思いました。子どもたちにとって、考える貴重な経験になったと思います。ありがとうございました。
○子供たちが一生懸命考え、意見を出し合っている姿が印象的でした。身近に起こりうることだけに、本当に真剣に考えさせられました。自分としても自然と声をかけられる人でありたいと思いました。社会全体でも人として支えあえる国を作っていければいいと思いました。
○意見交換や議論の機会が多く設けられていたのが良かったと思います。特に体育館での議論では、生徒も先生も登壇して意見をだしていたのが素晴らしかったと思います。

このように、あの２時間の学びは本当に素晴らしいものでしたので、改めて、一人一人が考えたことを大切にし、今後の生活にぜひ活かして欲しいと願っています。そして、素晴らしい学びの場を創ってくれた皆さんの頑張りに感謝いたします。本当にありがとうございました。

最後に、こうして２学期を無事に終えることができるのは、生徒の皆さんの頑張りはもちろん、保護者、地域の方々のご理解とご協力のお陰と感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

皆様良いお年をお迎えください。

学校行事

本校ホームページの赤二中日記では、学校行事等の様子を公開しています。下の QR コードもしくは URL（ https://www.ita.ed.jp/swas/index.php?id=1320142&frame=weblog)からご確認ください。

赤二中日記

道徳授業地区公開講座（全校振り返りとクラスで授業）　　修学旅行の発表

生徒の活躍

令和５年度 税についての作文コンクール
　東京都納税貯蓄総連合会　会長賞
　板橋納税所長賞
　板橋納税貯蓄組合連合会　優秀賞
　板橋納税貯蓄組合連合会　入　選

第 11 回税をテーマとした川柳コンクール　入選

第 52 回板橋区中学校駅伝競走大会
　男子総合　第２位・第８位　　女子総合　第５位・第８位
　男子個人　第２区　第３位　　第３区　第３位　　第４区　第２位
　　第５区　第２位　　第６区　第２位
　女子個人　第４区　第１位

第 76 回板橋区民体育大会駅伝競走中学男子の部　第１位

第 76 回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会
　女子１・２年　８００ｍ　第４位
　男子共通４×１００ｍ　　第６位　板橋選抜

板橋区中学校バスケットボール新人大会　女子　第３位

板橋区中学校ソフトテニス秋季研修大会　女子団体戦　Ｃリーグ優勝